

講演会型+体験活動参加型(中学校)

学校名等	郡上市立八幡中学校
実施日時	令和5年12月8日(金)
会場	郡上市立八幡中学校
参加人数	3年生 74名 + 乳幼児親子 18組
学習課題(分野)	赤ちゃんふれあい体験 (命の大切さ・家族の大切さ・自立心・思いやり)
運営者の願い	郡上市では、中学校と市の関係課が連携して行う「赤ちゃんふれあい体験」が長年続いている。思春期という多感な時期に、「命」の尊さや「子育て」を体験するために、市内の中学校(3年生対象)の授業として実施している。

学習の内容

<開催までの経緯>

郡上市ではこの取組を、生徒にとっても乳児の母親にとっても大切な体験だからと、コロナ禍にあってもオンラインで行うなど、開催方法を工夫して継続してきた。

令和5年度は、従来通り対面でのふれあい体験を実施した。

<当日の流れ>

- 保健師による性教育の授業
 - 奇跡の重なりで生まれてくる赤ちゃん
 - 感動的な出産の瞬間
- 赤ちゃん人形で練習
 - 赤ちゃんの抱っこの仕方などを、人形で練習
- 赤ちゃんを迎える準備
 - 会場の準備、お迎え、設営等、すべて生徒たちが準備。
- 初めましての会



赤ちゃん、ようこそ!



出産時の動画を見せてくださるお母さん

- 赤ちゃんとのふれあい



<参加者の感想>

- ・すごく楽しかったし、癒やされました。親さんが出産するまでのつらさや、生まれてからの喜びなども伝わってきて、自分の親への感謝の気持ちをもつ機会となりました。(生徒)
- ・心の優しい子ばかりで、たくさんかわいがってくれました。改めて出産エピソードを話して、初心に戻ることができました。子育ては大変で思い通りにいかずに落ち込む日もあるけれど、子どもの笑顔を見るだけで幸せになれるので、私もまた明日から頑張ろうと思うことができました。(母親)



市をあげての強い願いのもとで進められる活動

郡上市ではこの事業のスタッフとして、子育て支援センター、保健師、社会教育課、乳幼児学級担当者、ファシリテーター養成講座修了者、子育てサポーター、母子成人保健推進員など、多くの人たちの協力を得て、大切な体験活動として位置づけている。



生徒の自己肯定感や感謝の気持ちを育てる活動

赤ちゃんやその母親と接することで、生徒が自分の生まれた時のことを振り返る貴重な機会にもなり、多くの喜びの中で生まれてきた自分への自己肯定感や家族に対する感謝の気持ちを持つことができる活動となっている。



赤ちゃんの母親にとっても、改めて自分の出産を振り返り初心に戻れる活動

赤ちゃんの母親は、出産の時の様子や思いを話すことで、改めて初心に戻ることができ、明日への活力を得ることができたようだ。生徒にとっても母親にとっても双方に喜びや気づきのある体験活動だからこそ、長く続けていける。